

# せんえんだより

## 桜とマスク

今年は暖冬でしたので、3月なのに、もう、「桜の開花」が発表されました。「マスクの転売禁止」も同じ日でした。街にはマスクをしている人がどんどん増えているのに品薄では困ったものです。

2月3月は、私にとって、苦しい季節です。高校生の頃からでしょうか、頭が重くなり、体調のすぐれない日が多くなりました。熱はないのに、だるくて、鼻水が出ます。夜になると鼻が詰まって、呼吸困難で寝られません。起きると眠くて、ウトウトします。期末試験、入学試験の季節で、大変でした。大学に入っても同じで、病院に行っても治らず、「君の風邪はなかなか治らず、厄介だね」と。私が悪いようにも聞こえました。試験は嫌いですが、〈試験ノイローゼ〉ではないと思ったのですが。

子供のころから、「草まけ」しやすいのですが、勤務すると、治りにくい湿疹が、手にでました。手術の〈手洗い〉が原因だと思い、手袋を変え、消毒薬を変えました。逆に、足や全身、更に顔にまで広がりました。「免疫不全のようだ」ということで、癌の疑いのある病名も告げられました。医者ってヒドイですね。でも、自宅にまで来てくれました。ある日、「スギ花粉症」という病名が新聞に載りました。時代が私に追いついてきた瞬間です。注射や薬、食べ物と色々な治療を試しました。治りません。しばらくすると、春先だけではなく1年中、鼻水が出て、くしゃみが突然です。くしゃみは、しばらく止まりません。1日中ティッシュボックスを持って歩いていました。マスクはびしょびしょになり、1日1枚では足らなかったです。湿疹は1年中に、くしゃみ、鼻水は秋にもなりました。アレルギーの原因物質を調べると全て陽性で、ショックでした。マスクは1年中の必需品となり、毎日薬を飲んでます。もちろんマスクは箱買いで、常に家には1箱ありますが、買えないと困ります。ただ、最近薬

が効いているのか、歳をとって、免疫が弱くなったのか、くしゃみが少なくなり、マスクの時間が少なくなりました。

ところで、外国旅行中に、マスクをして歩いていたら、「イチヤモンをつけられた」ことがあります。咳、くしゃみから相手を守るために着けるマスクもあるのに、それって、日本だけですか。いえいえ、病院の受付で、マスクを着けての応対を許可したら、「失礼じゃあないか」とクレームがきたことがあります。「咳エチケット」なんていわないとダメなんじゃないでしょうか。

新型コロナウイルスとの戦いが始まりました。医療システムが充実し、人々の意識が高く、キスやハグの習慣のない日本だからなのか、急激な感染拡大は起こっていません。ペストやコレラや結核に、赤痢、麻疹、風疹など、長い歴史の中で、ヒトは感染症と戦ってきました。残念ながら、感染症に勝つことは、稀です。重症化を防ぎ、「折り合いをつける」事しかできないようです。インフルエンザワクチンも、型によっては無効で、症状を軽くすることしかできません。特効薬にも副作用はあります。コロナでは、高齢者や持病のある方は感染したら重症化しやすいようです。でも、家の中に閉じこもっていても、足腰が弱ります。認知症予防にも、体操や運動は大切です。お花見に行きましょう。でも、座って宴会をしたり、カラオケをしたりではなく、桜を愛でて、散歩しましょう。家に帰ってきたら、ストレッチしましょう。服に付いた埃や花粉を掃いましょう。マスクを外して、顔を洗って、うがいをして下さい。口をいっぱい大きく開けて、ア、イ、ウ、エ、オを繰り返しましょう。最後に丁寧に手洗いをしましょう。

もしも、腰痛や足の痛みやしびれで歩けないときは、病院を受診して下さい。マスクをして診察していますのでお許し下さい。

医療法人寶樹会 仙塩利府病院

病院長 神尾 一彦

## INDEX

- 桜とマスク
- お遍路はキツネと共に
- 部署紹介  
「仙塩利府病院 薬剤部」
- 医療安全セミナーを開催しました
- 外来診療担当医表 他

## 基本理念

- 1 患者さんに、「最良の医療」と「思いやり」を提供する
- 2 患者さんから「信頼され、選ばれる」病院になる
- 3 地域医療に「永続的に貢献」する



# お遍路は キツネと共に

登場人物など

- (1) お遍路ドクター 通称 サトカ
- (2) 相棒の金剛杖 通称 キツネ
- (3) 謎の女性 通称 砂子

LA在住の日本人、単身お遍路挑戦中

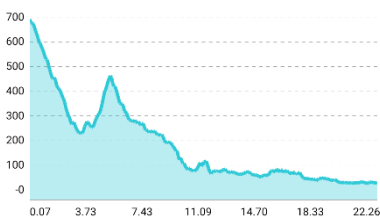
## ⑥ 札所巡り

案山子の里を出発し、13番札所大日寺には14時30分頃到着しました。歩行距離23.0km、7時間の行程でした。

4月4日大日時までの行程



4月4日大日時までの高低グラフ

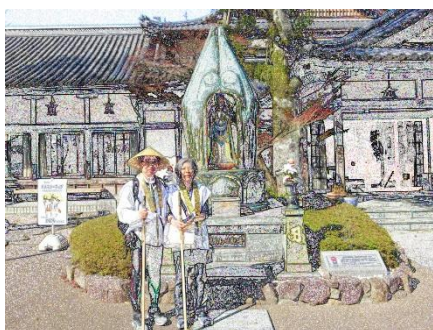


\*前半を詳しく書いていながら、後半の記述があまりに簡単な事に違和感を持った方もいるかもしれません。標高が下がるに従い、満開の桜は姿を消し、美しい山里はどこにでもある町並みに変わってしまいました。このような事情で、後半部分は思い切り端折りました（それにしても端折り過ぎか）。

砂子さんとはここでお別れです。記念に二人で写真を撮りました。別れ際、彼女のLINEに一句送りました。

桜坂 同行二人（ににん）また二人（ににん）

\*砂子さん、本名は「薫子」さん、ニックネームは「ココ」ちゃんと言います。



大日寺にて砂子さんと(鉛筆タッチ画像)

この日は、大日寺バス停からバスで30分ほどの神山温泉に宿泊です。今回のお遍路唯一の温泉宿です。二日間頑張ったし、温泉にのんびり浸かり、お酒も解禁しました。これ以上ない程の幸せ感に包まれました。

4月5日、始発のバスは7:55発ですが、折角の温泉宿で慌ただしく行動する気にはなりません。ゆっくり朝湯に浸かり、朝食もしっかり摂って、お出かけです。バスは10:04発。本当にのんびりです(←少しは急げ)。10:30過ぎに大日寺到着。札所巡りの前に、「続・日本百名城」一宮城を散策し、一宮神社に参拝した後にお遍路再開しました。

13番札所から17番札所までは、比較的短い距離に札所が5カ所。効率的に回れる札所巡りのコースです。とても暖かい日で、快適なウォーキングとなりました。14番札所で、遍路バスの団体に会いました。集団の読経って、結構迫力あります。どさくさに紛れて、一緒に読経したくなります(しなかったけど)。難点は、御朱印頂くのに時間がかかる場合があることでしょうか。彼らはバス、私は徒歩。いずれ離され、札所で会うこともないだろう、と思っていたのですが・・・。17番札所まで、何故か、この団体さんを見かけることになるのでした。

春うらら 祈禱賑わす 遍路バス



4月5日札所巡り

この日は全行程で15.0km 歩きました。と言っても、最初の3kmは一宮城散策、最後の3kmは、17番札所から16番札所近くの宿までの戻り道です。お遍路自体は9km程でした。

仙塩総合病院 内科医 さとう 佐藤 一俊



私たち薬剤部では、「くすりを通じて安心・安全・信頼の医療を提供する」を合言葉に病院内のすべての医薬品に関する仕事をしています。

薬剤部の業務は、調剤、注射調剤、抗がん薬調製、薬剤管理指導業務、医薬品情報管理業務、医薬品管理などで構成され、常勤薬剤師5名と薬剤補助2名の合計7名で、少人数ながら患者様中心の医療を提供しています。

医薬品の購入から、調剤や注射払い出し、抗がん薬調製、病棟における服薬指導など患者サービスに努めるとともに、医師や看護師等への医薬品情報の提供や問い合わせなどを通じて、チーム医療に貢献し、医薬品の適正使用の推進を図っています。

検査や手術を控えた外来患者様には、お薬相談コーナーにて内服中、使用中のお薬を確認し、休薬の必要がないか事前チェックを実施しています。また、入院患者様には、病棟で薬剤師が直接、お薬の説明や疑問にお応えします（薬剤管理指導業務）。

薬剤部 部長代行 千葉 忍



「お薬について知りたいこと」  
「処方されたお薬についてのご質問」

などありましたら

**薬剤師** にお気軽にお尋ねください。



仙塩総合病院 安全管理委員会主催

## 医療安全セミナーを開催しました

今年度2回目の医療安全セミナーは、「副作用被害救済制度と副作用等報告制度」について、医薬品医療機器総合機構より2名の講師に来ていただき、前半と後半に分けてお話しいただきました。前半の救済制度については、副作用により重篤な疾病にかかったり、日常生活に支障が出るような障害が残った場合の実際の裁判事例や、救済を受けられる基準、手続き等についてお話しいただきました。後半の報告制度については、医療関係者からの報告が安全対策上の重要な情報源となるため、「副作用かも？」と思った場合の報告が必要かどうか、また報告の流れについて分かりやすくお話しいただきました。以前行った、「転倒・転落防止対策」のように、業務に直接関わる内容ではないものの、患者さんの安全につながる知識が得られる貴重なセミナーでした。



安全管理委員会 山内 正樹



# 仙塩総合病院 外来診療担当医表

■ 診療担当医は予告なく変更になることがありますので予めご了承ください

R2.4.1 現在

診療科目	受付時間	月	火	水	木	金
内科	8:30~11:30	佐藤 正俊	佐藤 容子	佐藤 一俊	佐藤 容子	橋口 良一 <small>一般外来及び禁煙外来</small>
		大平 泰子	石垣 五月		大庭 正敏	石垣 五月
	14:00~16:00	大庭 正敏	佐藤 一俊	橋口 良一 <small>一般外来及び禁煙外来</small>	大平 泰子	佐藤 正俊
整形外科	8:30~10:30 <small>※水曜日のみ 11:30まで受付</small>	李 榮茂	神尾 一彦 <small>脊椎専門外来</small>	森口 尚 <small>【8:30~11:30】</small>	宮坂 芳典	-
形成外科	14:00~16:00	南雲 正人	-	月1、2回 南雲 正人 4/15,5/13,5/27	-	-

## 仙塩総合病院 外来からのお知らせ

- 内科** 4月10日(金) 石垣五月先生の外来は休診です
- 整形外科** 4月 1日(水)より診療日、担当医が一部変更となります  
5月19日(火)の外来は休診です
- ゴールデンウィーク中の診療について** 5月2日(土)から5月6日(木)まで休診となります

## 病院間無料送迎車のご案内

仙塩総合病院 発 ⇒ 仙塩利府病院 行	7:45	-	9:20	10:30	11:40	-	13:20	-	15:50	-	-
仙塩利府病院 発 ⇒ 仙塩総合病院 行	-	8:45	9:55	-	11:05	12:15	-	-	15:20	16:30	-

## 編集後記

今年は雪がほとんど降らないまま、冬から春へと季節がかわろうとしています。過ごしやすいい日が増え外出が楽しい時期ですが、新型コロナウイルスの流行で今までにない状況が続いています。不安はありますが、手洗いうがいなど出来ることをしっかりと行い予防に努めましょう。これ以上拡大しないことを願うばかりです。

編集担当者：菊田 (5階病棟) 和田 (7Fリ)



医療法人寶樹会  
**仙塩総合病院**

〒985-0842  
宮城県多賀城市桜木2丁目1-1

☎ 022-367-4111 (代表)

■ 地域連携室  
☎ 022-352-1336 (直通)



医療法人寶樹会  
**仙塩利府病院**

〒981-0133  
宮城県宮城郡利府町青葉台  
2丁目2-108

☎ 022-355-4111 (代表)

■ 地域連携室 ☎ 022-355-4371 (直通)  
■ 健康診断室 ☎ 022-355-4824 (直通)

関連事業所  
■ 仙塩訪問看護ステーション ☎ 022-367-0501 (直通)  
■ 仙塩総合病院居宅介護支援事業所 ☎ 022-367-4136 (直通)